

## 聞・聞・聞

発行責任者 浄土真宗本願寺派 正善寺 住職 酒井光義 平成31年3月6日

〒802-0045 北九州市小倉北区神岳二丁目10番31号 電話093(541)2409番

親鸞聖人ご誕生850年・立教開宗800  
年についての消息 発布 平成31年1月9親鸞聖人御誕生850年  
立教開宗800年 についての消息

来る2023年には、宗祖親鸞聖人のご誕生850年、また、その翌年には立教開宗800年にあたる記念すべき年をお迎えするにあたり、2023年に慶讃法要をお勤めいたします。

親鸞聖人は承安3年・1173年にご誕生となり、御年9歳で出家得度され、比叡山で修行を重ねられました。29歳の折、山を下りて法然聖人の御弟子となられ、阿弥陀如来の本願念仏の世界に入られました。その後、専修念仏停止によって越後にご流罪になられ、赦免の後は関東に赴かれて他力念仏のみ教えを人々に伝えられるとともに、『教行信証』の執筆にとりかかられました。他力念仏のみ教えがまとめられた本書は、浄土真宗の根本聖典という意味でご本典と呼ばれています。そして、そのご本典の記述によって、その成立を親鸞聖人52歳の時、すなわち元仁元年・1224年とみて、この年を立教開宗の年と定めています。

仏教は今から約2500年前、釈尊が縁起や諸行無常・諸法無我というこの世界のありのままの真実をさとられたことに始まります。翻って私たちは、この執われのないおさとの真実に気づくことができず、常に自分中心の心で物事を見て、悩み、悲しみ、あるいは他人と争ったりしています。釈尊は、このような私たちをそのままに救い、おさとの真実へ導こうと願われたのが阿弥陀如来であることを教えてくださいました。そして、親鸞聖人は、この阿弥陀如来の願いが、南無阿弥陀仏のお念仏となってはたらき続けてくださっていることを明らかにされたのです。

ありのままの真実に基づく阿弥陀如来のお慈悲でありますから、いのちあるものすべてに平等にそそがれ、自己中心的な考え方しかできない煩惱具足の私たちも決して見捨てられることはありません。その広大な慈悲を思うとき、親鸞聖人が「恥づべし傷むべし」とおっしゃったように、阿弥陀如来のお心とあまりにもかけ離れた私たちの生活を深く慚愧せざるをえません。しかし、この慚愧の思いは、阿弥陀如来の悲しみを少しでも軽くすることができればという方向に私たちを動かすでしょう。

それは、阿弥陀如来の願いを一人でも多くの人に伝え、他人の喜び悲しみを自らの喜び悲しみとするような如来のお心にかなう生き方であり、また、世の安穩、仏法弘通を願われた親鸞聖人のお心に沿う生活です。み教えに生かされ、いよいよお念仏を喜び、すべてのいのちあるものが、お互いに心を通い合わせて生きていけるような社会の実現に向け、宗門総合振興計画の取り組みを進めながら、来るべき親鸞聖人ご誕生850年ならびに立教開宗800年の慶讃法要をともにお迎えいたしましょう。

平成31年  
2019年 1月9日

龍谷門主 釋 尊 如

二〇二三年慶讃法要厳修 本山西本願寺に参りましょう

2018. 11 月より 2019. 2 月まで

# 正善寺思い出フォトグラフィ

2018.11 正善寺報恩講法要

法要準備 金仏具を磨きます。婦人会特製のお齋 おいしいいただきます。満堂の聴聞



2018.12.15 忘年会 今年もがんばりました。観山荘本館



2018 除夜会

2019 元旦会



除夜の鐘撞き始め おせちのご接待も 名物はたまご酒

2019.2.23 正善寺仏教婦人会例会・料理教室 ララランチ会



まずはお勤め みんなで一緒に力作を! それぞれの家庭料理も舌鼓 おいしいです!



# ご 案 内

と き 平成 31 年 3 月 18 日 より 19 日 まで

## 春 季 彼 岸 法 要

	18日(月)	19日(火)
昼 席	午後1時30分	午後1時30分

講 師 (山口県下関市 )

本願寺派布教使 寺 田 教 昭 師

どうぞお誘いあわせのうえお参り下さい。

3月16日(土)法要準備会

10:0より15:00まで

彼岸法要の準備、本堂のおかざり、  
納骨堂の清掃等を行います。

昼食用意しています。たくさんのご参加  
をお願いします。



次女 行子  
増永隆之介氏とのご縁  
をいただき 31.2.17  
当山にて仏前結婚式を  
あげました。今後もよ  
ろしくお願いします。



香炉の灰は  
ハート形にて  
焼 香



「小倉親鸞のつどい」ご案内

## ガン、認知症、死んでもハッピー

講 師 医療法人裕和会 長尾クリニック 長尾和宏 師

日 時 31年3月8日(金) 14時開演 16時30分閉演  
会 場 小倉北区大手町 女性センター「ムーブ」大ホール  
入場券 500円 お寺にあります。当日券あります。  
参加制限ありません。どうぞお誘いあわせの上ご参加ください。

# 行事ご案内【如来大悲の恩徳は 身を粉にしても報ずべし】

4月8日は「お釈迦様の誕生日」

みんなでお祝いしましょう

## 花まつり・甘茶接待

【日 時】 4月8日(月)

午前11時より午後16時まで

【会 場】 正善寺・神岳保育園玄関前

## 小倉仏教会主催

午後14時より午後16時まで

【会 場】 且過丸和前にて開催

**初参式**(しょさんしき) 正善寺本堂にて

と き 6月9日(日)午前11時開始

小さいお子様がお寺の仏さまの前で初めてお参りをする儀式です。最近生まれたお子様はぜひ参加いたしましょう。家族揃っておいでください。お待ちしております

『**こんなはずではなかった**』が

『**これでよかった**』に転ずる

**仏法聴聞**

次回の法要のご案内 **永代経法要**

【と き】 6月8日(土) 昼席・6月9日(日) 昼席 (昼席2日間)

【講師】 当山 正善寺 住職 酒井光義

準備会予定 6月5日(水)10:00~15:00

## 編集後記

三月のやさしい雨は、春を待つ、木々の根に降り注ぐ恵みの雨のような気がします。ご門徒の皆様、お元気でお過ごしでしょうか?ごぶさたばかりで申し訳ございません。

お寺の保育園では卒園するこどもたちとの大切な行事が続き、その都度「大きくなったなあ」「立派になったなあ」「お別れはさみしいなあ」と笑顔の中にも職員で涙を流す日々です。別れがつかいと思えるほどの出会いに出遇えたことを感謝したいと今は思います。

私事ですが、次女がこの度結婚しました。「この人とこれからの人生を一緒に歩いていきたい」と思える人に出遇えたことを、親として一番喜んで送り出してやりたいねと住職と話しました。喜びの反面心にぽっかりと穴があいたようなさみしさを感じます。子離れの努力をこれからしていかなければならないと自分に言い聞かせながら、ふと阿弥陀様のお声を頂きました。「子離れは必要ないよ」と。いつの時もわたしのことを包み込んで願いをかけていて下さる阿弥陀様。いつの時も娘の幸せを願う私。親と子として出遇えたことにせいいっぱい感謝をして今までよりも少し遠くから、娘の心の伴走者として慈しみの心をかけていけばよいのだとそれが母親としてできることなのだ、気づかせて頂きました。嫁ぐ日「私が生まれてきた訳は父と母とに出会うため 私が生まれてきた訳はきょうだいたちに出会うため 私が生まれてきた訳はともだちみんなに出会うため 私が生まれてきた訳は愛しいあなたに出会うため 春来れば花自ら咲くように 秋くれば葉は自ら散るように しあわせになるために誰もが生まれてきたんだよ 悲しみの花の後からは喜びの実が実るように」さだまさし「いのちの理由」この言葉をお寺の掲示板に住職が書かせて頂きました。三月は大切なお彼岸を迎えます。先に往かれた大切な方々に手を合わせ、「南無阿弥陀仏」に出遇えたことを一緒に喜ばせて頂きたいと思います。お参りを心よりお待ちしております。合掌

